



大阪ガス

ガス風呂釜 (セントラル給湯機能付き)

取扱説明書 31-038 (屋外設置型) 31-039 (屋内設置型)

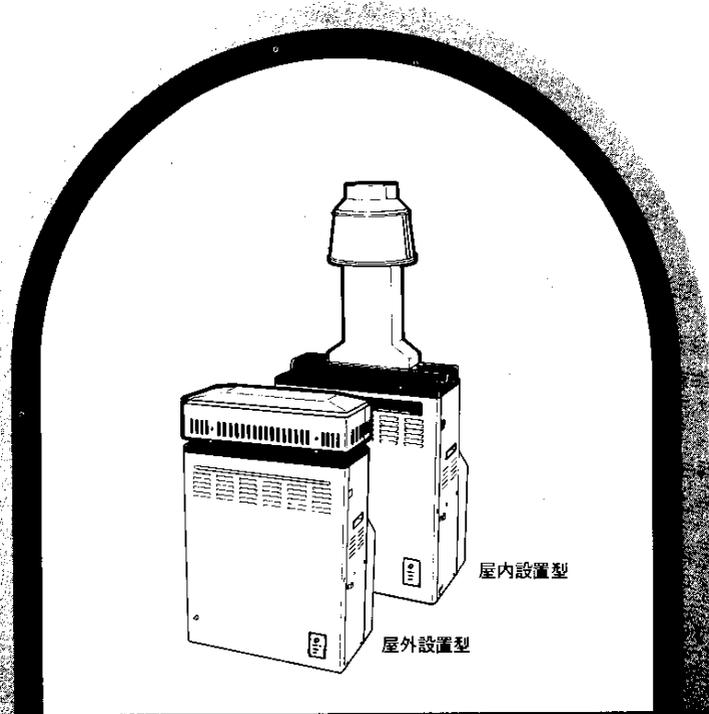
保証書付

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市東区平野町5-1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪 06 (852) 0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	☎580	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里町39-6	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	☎682	西宮市和上町4-11	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町16-17	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44) 1111
歌山支社	☎640	和歌山市本町1-1-1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	☎875	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	☎868	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	☎525	草津市追分町字荒堀680-1	☎草津 0775(82) 5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜 07498(2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



使用中は、熱
くなります。
手をふれない
てください。



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜（セントラル給湯機能付き）を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保存してください。

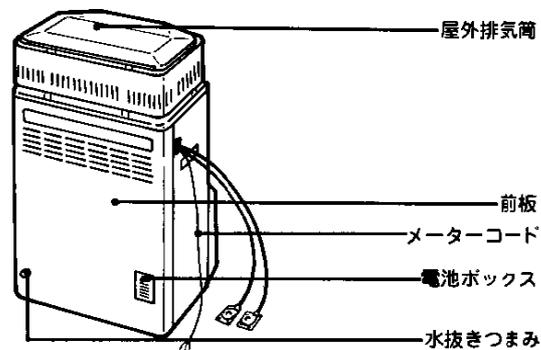
もくじ

- ・各部の名称…………… 1
- ・特に注意していただきたいこと…………… 2
- ・設置状態の確認…………… 8
- ・使用手順…………… 9
- ・凍結による器具の破損を防ぐために…………… 14
- ・安全装置が作動したときの処置方法…………… 16
- ・日常の点検とお手入れ…………… 17
- ・故障・異常の見分け方と処置方法…………… 19
- ・保管（長期間使用しない場合）…………… 20
- ・アフターサービスのお申し込み…………… 21
- ・寸法図・仕様…………… 22

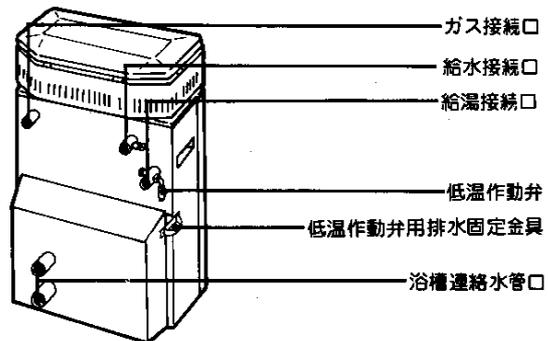
各部の名称

■本体

〔前面〕

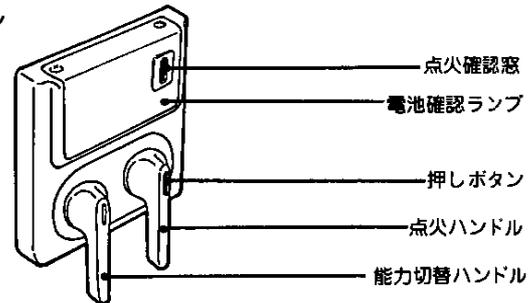


〔後面〕



※本図は31-038型（屋外設置型）を示す。

■湯かげんハンドル



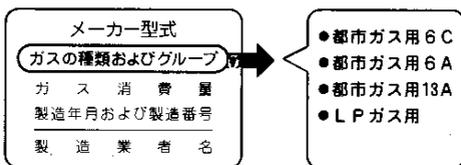
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

燃焼ガスについてのご注意

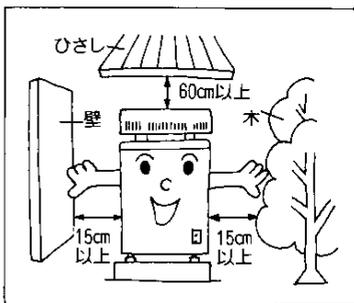
●ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

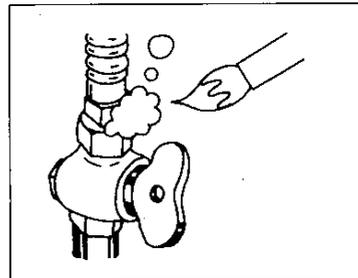


特に注意していただきたいこと②

使用上のご注意

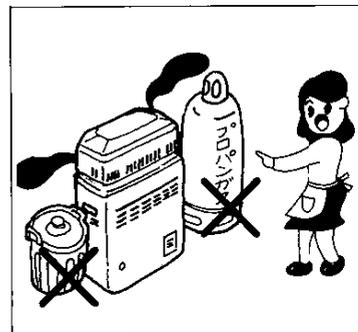
①ガス漏れ予防

- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。

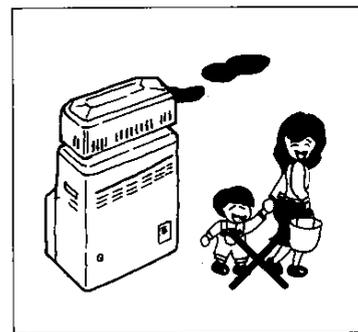


②火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、ポリバケツ、ゴミ箱、家具、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないようにしてください。



- 火をつけたままで就寝、外出は絶対しないでください。

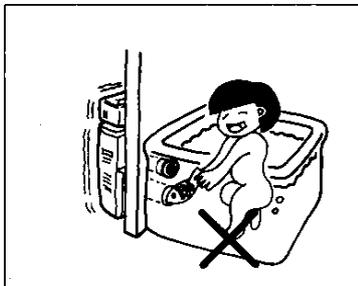


特に注意していただきたいこと③

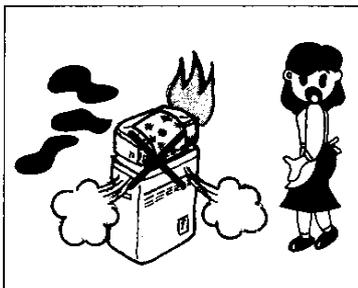
③過熱予防

(1)循環パイプについて

- ふろ釜と、浴そうを接続している上下の循環口をタオルなどで、ふさがないようにしてください。お湯が循環しなくなり、器具が過熱して危険です。



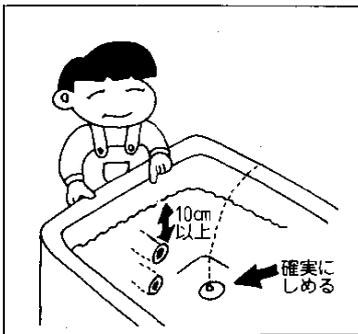
- 屋外排気筒の上や器具本体に物をのせると、給気口や排気口がふさがれ、不完全燃焼の原因にもなり、過熱の危険がありますから絶対にのせないでください。



(2)空だき注意

おふろを空だきしないようご注意ください。
そのために次のことを必ず実行してください。

- ※浴そうの排水せんは確実にしめてください。
- ※ふろ釜に点火する前に、もう一度水面が上部循環口より10cm以上高くなっているか確かめてください。
- ※万一空だきしたときは、点火ハンドルを「止」にもどし、15分以上待って（水位を確かめて）から再点火してください。



特に注意していただきたいこと④

(3)やけどのご注意

ご使用中、および使用直後は排気筒や器具本体と天板部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



④換気のご注意

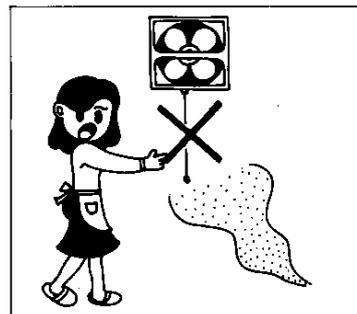
お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。

⑤ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉じ、窓を開けて換気を行ない、販売店、もしくは、大阪ガス各支社に連絡してください。



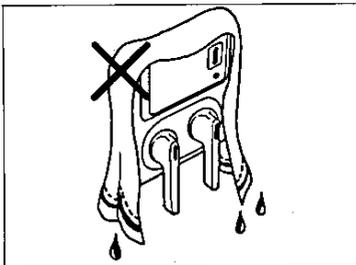
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具にふれたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差し等）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



特に注意していただきたいこと ⑥

⑥湯かげんハンドルについてのご注意

湯かげんハンドルに濡れタオルなどを絶対にかけないでください。又、ハンドルは必ず手で操作してください。

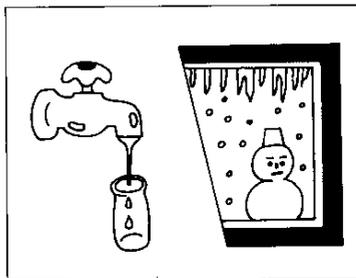


⑦使用後の処置

・器具をご使用にならないときや、外出前、またおやすみの前には、万一の事故がないように必ずガス元せんをしめてください。

⑧冬期の凍結防止

冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために、水抜きを必ず行なうか、給湯蛇口から水を出しっぱなしにするかなどして、凍結を防止してください。（詳しくは14ページを参照）



〈ご注意〉

- ・器具の給水元せんは水抜きをする場合以外は絶対にしめないでください。
- ・このふる釜には、万一凍結防止処置を忘れた場合、自動的に器外に少量の水を流出する低温作動弁が付いていますので、水抜きの場合以外は、絶対に給水元せんをしめないでください。

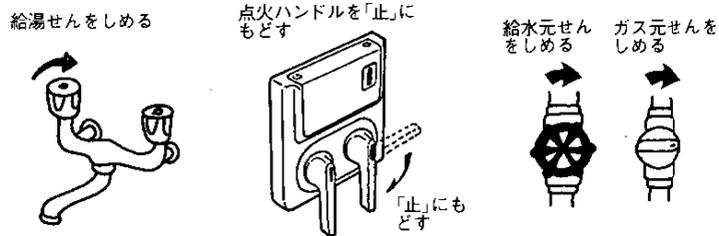
⑨健浴剤や洗剤についてのご注意

イオウ、酸、アルカリを含んだ健浴剤は熱交換器が腐蝕する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

特に注意していただきたいこと ⑥

⑩異常時の処置

万一ふだんと違った状態になったときや、緊急の場合には直ちにご使用を中止してお買い求めの販売店または大阪ガス各支社に連絡してください。



①日常の点検・手入れ

- ・日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは17ページをお読みください。）
- ・故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店または大阪ガス各支社にご相談ください。

②たまった水は飲まないでください。

器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

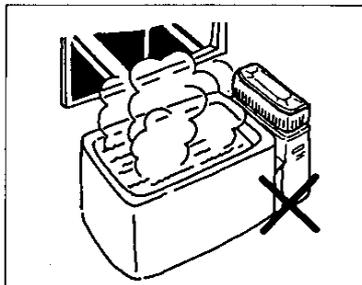
③器具の設置について

（詳しくは工事説明書をお読みください。）

- ・器具の設置はお買い求めになった販売店に依頼してください。
- ・安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

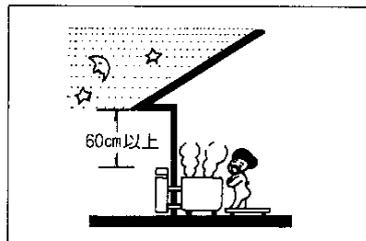
設置状態の確認

- この製品を使用する場合は設置基準に従って設置してあるか確認してください。
- くわしくは同梱の工事説明書を参照してください。
- このふろ釜は浴室外に設置してあるか確認してください。
- このふろ釜は必ず不燃材の上に設置してあるか、確認してください。



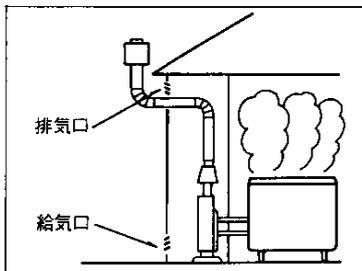
31-038型 〈屋外設置型〉

- このふろ釜は屋外に設置してあるか確認してください。
- 屋外排気筒上端から上方60cm以内に軒などの障害物がないように設置してあるか確認してください。



31-039型 〈屋内設置型〉

- このふろ釜は必ず屋内に設置し、14 cmφの二次排気筒を取り付けて屋外に排気を排出してください。上部に排気口、下部に給気口各160 cmφを設けてください。
- 「この製品を設置又は変更の工事を行なう場合、法律に基づきガス消費機器設置工事監督者による監督及び表示が必要ですので、監督者の表示があることを確認してください。」



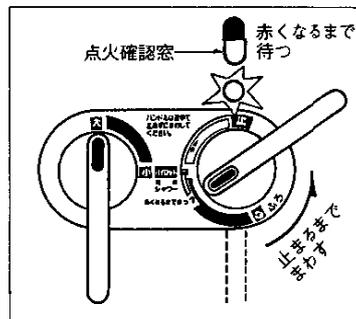
使用手順

はじめてお使いのとき

- (1)ガス元せん、給水元せんを全開にしてください。
- (2)給湯配管先の蛇口を開けて通水し、配管中の空気を追いだしてから（蛇口からスムーズに水が流れ出ることを確認してから）ご使用ください。

パイロット安全装置

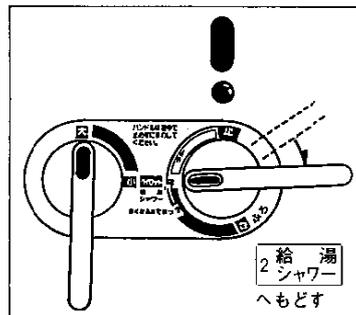
- (1)点火ハンドル(右側)の「ボタン」を押さずに **止** → **1点火** へ止まるまでまわし、そのまま点火確認窓の黒色が赤色に変わるまでお待ちください。(約10秒~20秒まつ)



《ご注意》

点火ハンドルを **1点火** にまわしたとき、「電池確認ランプ」が点灯します。乾電池が消耗していますと、「電池確認ランプ」が点滅したり、暗くなったりしますから、乾電池(単1)を取りかえてください。

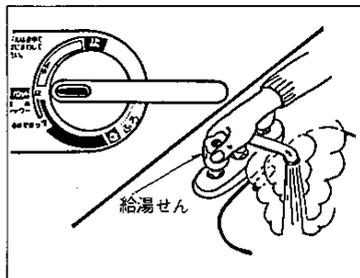
- (2)点火確認窓が赤色になったら、点火ハンドルを **2 給湯シャワー** へもどしてください。
- このとき、点火確認窓は赤色のままです。



使用手順②

給湯・シャワーの使い方

(1) 点火ハンドルが「**2給湯**」の位置で給湯せんを全開にするとメインバーナーに着火し、お湯が出てきます。



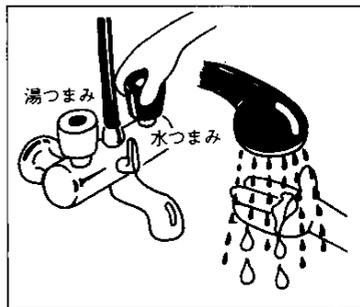
(2) 使用后、給湯せんを閉めれば、メインバーナーが消火し、パイロットバーナーのみ燃焼しています。

《ご注意》

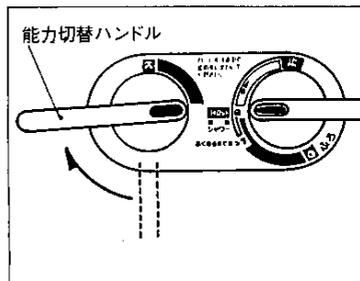
使用後は必ず給湯せんは完全に閉めてお湯の出を止めてください。

能力切替

(1) シャワー・台所等のお湯があつすぎるときは、混合止水栓の水つまみを開け水を出して湯温を調節してください。



(2) 湯の温度を混合止水栓で調節してもあつすぎるときは、能力切替ハンドルを「小」の方に合わせてから混合止水栓で調節してください。



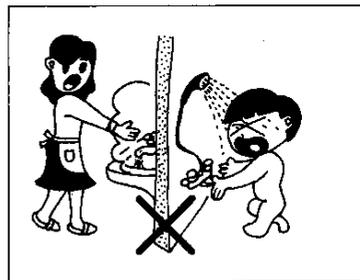
《ご注意》

大と小の間では絶対に使用しないでください。

使用手順③

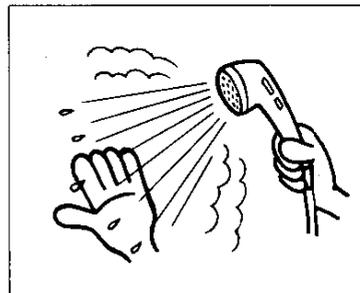
《ご注意》

① 2ヶ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用は、やめてください。



《ご注意》

② シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。



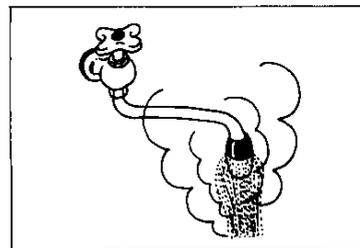
シャワーをお使いになって、お湯を止めた直後、再度お使いになるときに、一瞬、熱い湯が出る場合があります。

《ご注意》

③ 給湯蛇口から白いお湯がでることがありますが、これは水の中の空気が分離して、気ほうとなったものですので何ら心配はありません。

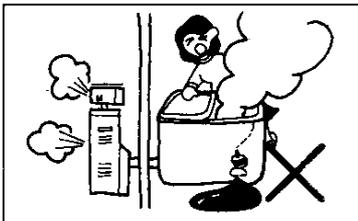
《ご注意》

④ 水の通りにくい蛇口（例えば泡沫水せんなど）を取付けられると、メインバーナーが点火しなかったりしますのでご注意ください。

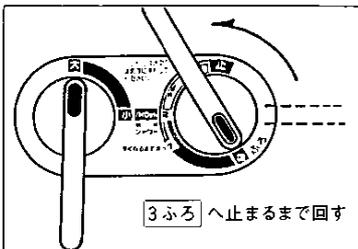


ふろだきをする場合

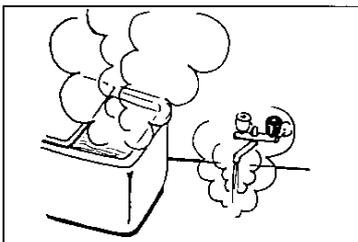
(1)浴そうに水（またはお湯）が湯当りの上端より上へ10cm以上にあることを確認してください。水（またはお湯）が少なかったり、入っていなかったりすると空だきになり、器具の寿命を短くしますから絶対にさけてください。



(2)点火ハンドルを「3ふろ」の位置へまわすと、ふろ側のメインバーナーに着火します。

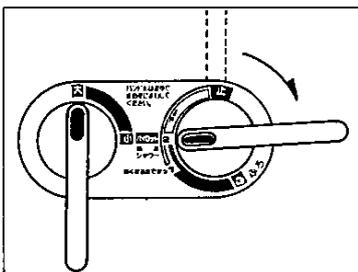


※ふろを沸かしているときでも、給湯配管先のカラン(蛇口)を開けるとお湯は使えます。



(3)ふろを消火する場合

点火ハンドルを「2給シャワー」にもどすと、ふろ側のメインバーナーが消えます。

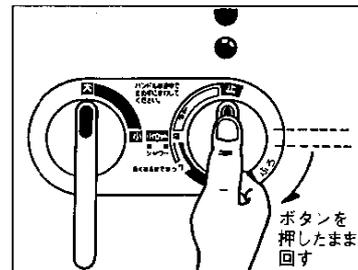


使い終わったあと(長時間使用しない場合)

(1)パイロットバーナーの消火

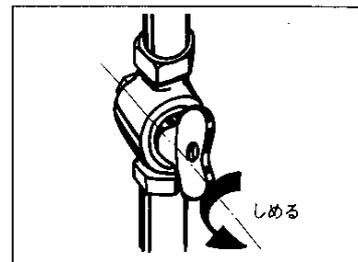
点火ハンドルの「ボタン」を押したまま「止」の位置へ止まる迄もどすと消火します。

※点火確認窓の表示は消火後、しばらくして赤色→黒色に変わります。



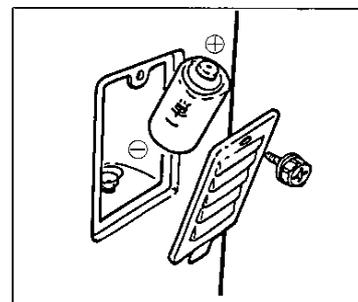
(2)ガスの元せんとしめる

ふろおよび、シャワー・給湯をお使いにならないときは、必ずガス元せんとしめる習慣をつけましょう。



乾電池(単1)の取り替え

- 点火ハンドルを回しても電池確認ランプが点滅したり、暗くなったりするときは乾電池が消耗していますから、乾電池(単1)を取り替えてください。
- 本体前板の右側に電池ボックスがついていますので、電池ボックスの蓋ははずし乾電池(単1)を新しいものと取り替えてください。



《ご注意》

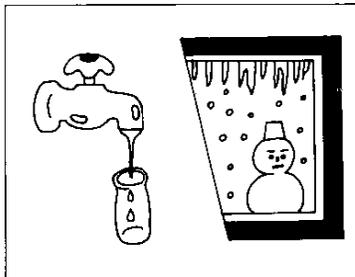
乾電池の⊕・⊖の表示通り間違わないように入れてください。

凍結による器具の破損を防ぐために

凍結のおそれのある場合のみ操作します。長期間不在される場合や寒さがきびしいとき、または寒冷地でご使用の場合には、凍結による器具の破損を防止するため必ずつぎの順序で凍結防止処置をしてください。

①通水法(給湯せんから水を流し放しにする方法で一般的な凍結防止方法です。)

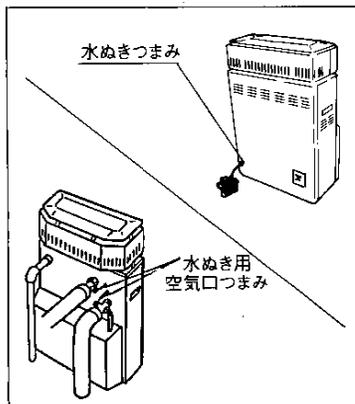
- ガス元せん、点火ハンドルを閉じ、火がつかないようにしてから、給湯せんを開け、少量の水を〔1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)ただし、特に寒い日は多い目に〕流しておいてください。
- 流量が不安定なことがありますので念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。
- この方法で、器具本体はもちろん、給水管、バルブ類の凍結防止ができます。
- 浴そうの水を抜いてください。



②水抜き法(入浴前や長期不在の場合や異常寒気の場合の凍結防止方法です。)

※この場合、器具接続部迄の給水配管の凍結防止はできません。

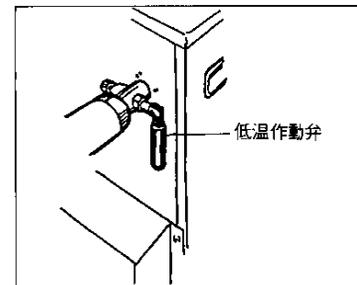
- (1)ガス元せんおよび、給水元せんをしめます。
- (2)給湯せん、およびシャワーせんを全部開ける。
- (3)器具本体の水抜きつまみを外してから、器具後部の水抜き用空気口つまみを開けて、水を十分抜いてください。
- (4)シャワーヘッドを床面まで下げてシャワーホースの水も抜いてください。
- (5)次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。
- (6)再使用前には必ず水ぬきつまみ・水ぬき用空気口つまみをしめ、もとどおりにしてから使用してください。



凍結による器具の破損を防ぐために②

③低温作動弁について

- この器具には凍結予防補助の為に自動的に器外へ少量の水を流出する低温作動弁を組込んでいます。
- 低温作動弁が働いて水が流出した場合は、必ず14ページの①および②の処置をしてください。低温作動弁だけでは、冷え込みの厳しい場合や、異常寒気の場合は効果はありません。



《ご注意》

- 器具の中の水を抜く場合以外は、絶対に給水元せんをしめないでください。
- 冬場に低温作動弁が凍結予防のために作動すると、水がたれ流されますので排水処理を行なってください。

《凍結したときは》

- 器具や配管が破損すると高額な修理費がかかる場合があります。(有償)
- 凍結したまま使用すると、器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、水漏れがないのを確認してからご使用ください。

装置が作動したときの処置方法

パイロット安全装置

- ・使用中に万一、パイロットバーナーが消えた時、パイロットバーナー及びメインバーナーへの通路を閉じ、生ガスの流出を防止します。
この装置が作動した時には9ページ～13ページの使用手順に従って操作をやりなおしてください。

ふろ空焚安全装置

- ・万一釜の内部が空焚き状態又は異常過熱温度になったとき、ガスを止めます。
この場合は釜がつまっていないか、水が十分入っているかを確認し、操作をやりなおしてください。
- ・この装置が働く点検が必要となりますので、販売店又は大阪ガス各支社までご連絡ください。

給湯器残火安全装置

- ・万一、給湯熱交換器内が空焚き状態又は、異常過熱温度になったとき、ガスを止めます。給湯熱交換器が自然に冷えるのを待ってから再通水し、水モレしていないことを確かめてから操作をやりなおしてください。
- ・この装置が働く点検が必要となりますので、販売店又は大阪ガス各支社までご連絡ください。

過熱感知装置

- ・使用中に器具に異常が生じ、器具内の温度が異常に上昇したとき装置が働き、ガス通路を閉じてメインバーナー・パイロットバーナーの炎が消えます。
- ・この装置が働く点検が必要となりますので、販売店又は大阪ガス各支社までご連絡ください。

過圧逃し弁

- ・万一熱交換器の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き内圧を下げます。再使用するときは熱交換器が自然に冷えるのをまってから再通水してください。
- ・この装置が働く点検が必要となりますので、販売店又は大阪ガス各支社までご連絡ください。

低温作動弁

- ・凍結防止処置を忘れた場合や急な冷えこみのときに作動します。
必ず、通水法や水抜き法で凍結防止処置を行なってください。
(詳しくは14ページを参照ください。)

日常の点検とお手入れ

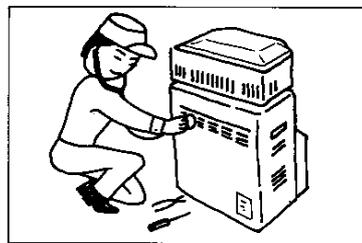
点検・お手入れの際のご注意

日常の点検、お手入れは必ず行なってください。

点検、お手入れは、やけどをしないように器具が十分冷えてから行ってください。

点検とお手入れ法

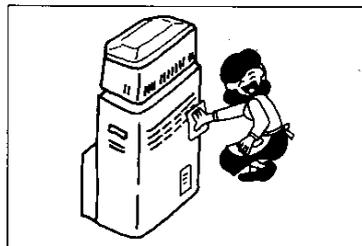
- (1)給湯器が古くなると熱交換器やバーナーに、サビや黒いスス等がつまって不完全燃焼の原因になります。3年に一度ぐらいは掃除が必要です。お買い求めの販売店または、大阪ガス各支社にお申し込みいただければ有償でお引受けいたします。



- (2)ふろ熱交換器の掃除
ときどき浴そう内の湯当りはずしてゴムホースで強く水を入れて、熱交換器の内部を水洗いしてください。下の循環口から水アカ等がでできます。(ごとごとかまなりがしたり、湯アカが熱交換器内からでてくるのは内部がよごれているからです。)



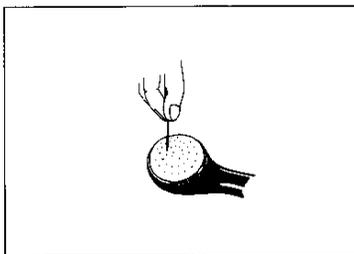
- (3)外観の掃除
よごれには、やわらかい布に中性洗剤をつけて落とし、後をやわらかい布で空ぶきしてください。タワシなどで強くこすりますとキズがつきサビ等の原因になりますからご注意ください。



日常の点検・お手入れ②

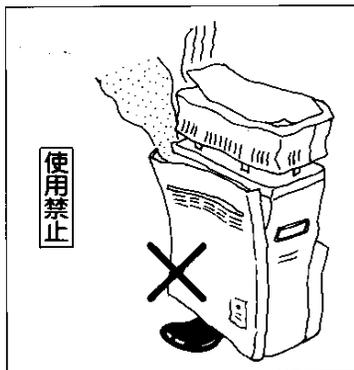
(4)シャワーヘッドのお手入れ

シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量が減ったり、バーナーに火がつかなくなったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。



点検の結果

故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置にこまるような場合にはお買い求めになった販売店が大阪ガス各支社までご連絡ください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	原因										処置方法	参照ページ	
	点火しない・点火しにくい	点火ハンドルの押し手をはなすと消火する	着火しない	炎が安定しない	異常な音を立てて燃える	使用中に消火する	高温の湯が出ない	水せんの開いても着火しない	お湯を止めても消火しない	使用中湯温が変化する			かま曇りがする
ガス元せんの開け忘れ	○											点火ハンドルをいったん「止」にもどしてから、ガス元せんを全開にする。	★ 9
ガス元せん開き不十分	○						○	○				LPガスボンベを交換する	☞ 1
LPガスがなくなりがけている	○		○				○	○				十分空気抜きを行う	☞ 1
配管中に空気が残っている	○					○							
ガス圧が低い	○		○	○			○					他の器具も同様なら点検を依頼する	☞ 1
ガス圧が高い				○	○					○			
水元せんの開け忘れ			○					○				水元せんを全開にする	★ 9
水元せんの開き不十分			○				○	○					
水圧が低い			○				○	○	○			点検を依頼する	☞ 1
水圧が高い									○				
水フィルター(ストレーナー)つまり			○				○	○	○			つまりを除去する	☞ 1
給水・給湯配管不良			○				○	○	○			点検を依頼する	☞ 1
器具が傾いている						○				○		正しく設置する	☞ 1
上部連絡水管下り勿配・ねじれ・つぶれ										○		点検・改修を依頼する	☞ 1
給排気筒工事の不良						○	○		○	○		点検・改修を依頼する	☞ 1
点火装置電極部汚れ	○												
バーナー炎口つまり			○				○	○	○			点検・改修を依頼する	☞ 1
炎検出部汚れ			○					○					
熱交換器目つまり							○			○	○		
点火ハンドル保持時間不足	○											点火確認窓が閉くなるまでまつ(10秒~20秒)	★ 9
給湯せん開き不足			○				○	○	○			給湯せんを全開にする	★ 10

故障・異常の見分け方と処置方法②

現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	現象	原因	処置方法	参照ページ	
	浴そうの水が少ない		点火装置の故障		安全装置が作動した		リモコンワイヤーの故障		リモコンハンドルの故障		乾電池の消耗												浴そうに水を入れ る★	12
																							点検・改修を依頼 する	-
																							乾電池(単一)の交 換★	13

★印の場合は自分の手で簡単にできます。

☐印、またはその他ご不審な点は、販売店もしくは大阪ガス各支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは器具は貼付してあるコード番号をお知らせください。

保管(長期間使用しない場合)

- ①水道の元せんをしめてから、器具内の水を全部抜いてください。
(14ページの水抜き法参照)
- ②ガスの元せんをしめ、点火ハンドル「止」にします。
- ③浴そうの水を抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- ・19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ・確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名…ガス風呂釜
- (2)品番…右側面に貼付してあります。
- (3)現象…(できるだけ詳しく)
- (4)道順…(できるだけ詳しく)

例

(4)31-038(U)
大阪ガス株式会社

転居される場合

- ・ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

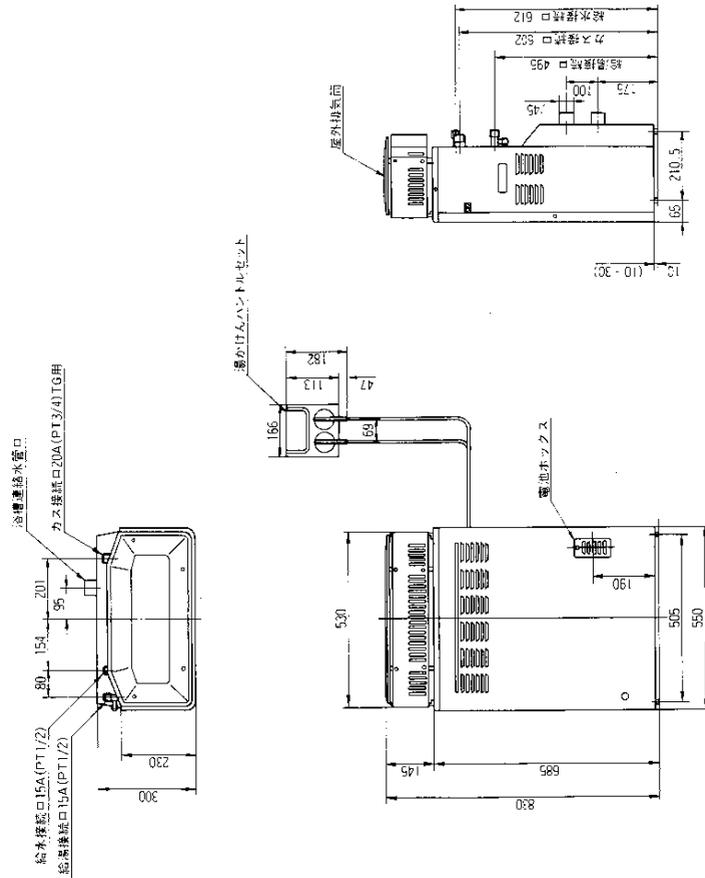
保証書について

- ・この器具には保証書がついています。このガス風呂釜は保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

仕様

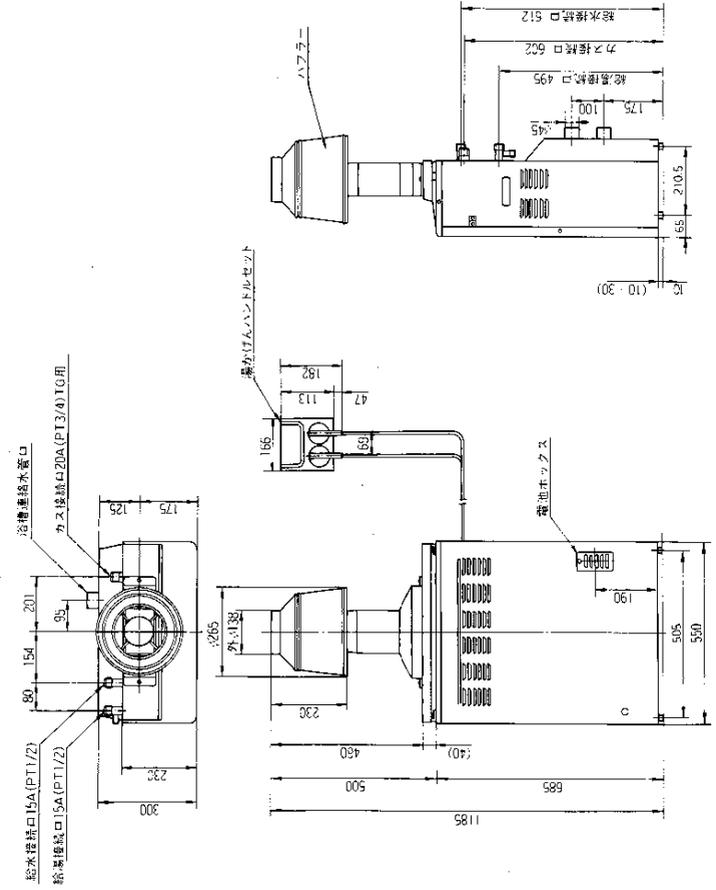
■寸法図

本図は31-038型(屋外設置型)を示す。



仕様②

本図は31-039型(屋内設置型)を示す。



仕様③

■仕様一覧表

器 種 名	31-038型(屋外設置型)	
	31-039型(屋内設置型)	
形式の呼び	RFS-100(G)-A...31-038(屋外設置型)	
	RFS-100(G)-B...31-039(屋内設置型)	
標準能力	給湯	大/10.0号 小/5.5号
	ふろ	11,000kcal/h
点火方式	乾電池式連続スパーク点火	
給湯器最低作動水圧	0.5kg/cm ²	
外形寸法 (mm)	31-038 屋外設置型	高さ 830(屋外排気筒含む)×幅550×奥行300
	31-039 屋内設置型	高さ1185(屋内用パフラー含む)×幅550×奥行300
重 量	25kg	
循環口取付口径	外径45mmピッチ100mm	
接 続	ガス	20A
	給水	15A
	給湯	15A
基準浴そう	1人用~1.5人用	
排気筒径	140mmφ	
排気温度	260℃以下	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> •パイロット安全装置 •温度ヒューズ •ふろ過熱感知スイッチ •低温作動弁 •過圧安全弁 •ガスガバナ •給湯器過熱感知スイッチ 	

仕様④

■個別ガス消費量

使用ガス			1時間当りガス消費量		
			給湯器	ふろ釜	同時使用時
都市ガス	6	C	19,500kcal/h	11,000kcal/h	30,000kcal/h
	6	A	19,500kcal/h	11,000kcal/h	30,000kcal/h
	13	A	19,500kcal/h	11,000kcal/h	30,000kcal/h
L P ガス			1.63kg/h	0.92kg/h	2.5kg/h

■出湯能力10.0号(水圧1kg/cm²の場合)

出湯量		5.6ℓ/分
出湯温度	(大)	(45+水温)℃
	(小)	(25+水温)℃

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。